地域包括ケアの地区展開　令和８年度　奥沢　地区アセスメント

人口

面積（ｋ㎡）	人口（人）	人口密度（人/ｋ㎡）	高齢者人口（人）	高齢化率(%)	年少人口（人）	年少人口率(%)	世帯数（世帯）	平均世帯人数（人）	高齢者がいる世帯数	高齢単身者世帯数	高齢者のみ世帯数	その他高齢者がいる世帯	高齢者がいる世帯率(%)	内高齢単身・高のみ世帯率	介護保険認定者数（人）	認定率(%)	障害者手帳保持者 身体障害者手帳	愛の手帳	障害サービス受給者 自立支援給付	障害児通所給付
1.206	22,123	18,344	5,113	23.11%	2,360	10.67%	11,801	1.87	3,724	1,642	1,013	1,069	31.56%	22.50%	1,149	22.47%	444	87	117	70

傾向

少子高齢化が、比較的進んでいる地区である。（高齢化率は、区内で２番目に高い。年少人口率は、区内で１４番目に低い。）
※参考　高齢化率　区平均２０．５７％　高齢化率トップ　成城地区２６．７９％　　年少人口率　区平均１１．１４％

地域活動

町会・自治会数	会員世帯数	サロン等登録団体数	サロン	子育てサロン	ミニデイ		社協・新たな居場所登録団体数	社協・民間施設の活動場所発掘件数	社協・地区サポーター登録数	生活支援体制整備事業　協議体開催回数	資源開発・生活支援サービス件数	生活支援サービス件数
2	7,200	26	25	1	0		4	18	70	11	3	

主な活動団体とその取組内容

住民主体型地域デイサービス（２か所）：奥沢・東玉川ダンディーエクササイズ、エンジョイライフSOBA・麺（R6/4/1新設）
喫茶さぎ草、ひがたまカフェ（認知症カフェ）、おもてなしカフェ（認知症当事者が参加するカフェ）
子ども食堂：防災おくめし、こつな夜カフェ

生活支援

地域密着型サービス 定期巡回･随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型居宅介護	認知症高齢者グループホーム	地域密着型特別養護老人ホーム	ショートステイ	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設	都市型軽費老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホーム	うち、特定施設入居者生活介護
0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	2	1

障害者・児　通所系・共同生活援助等

小規模多機能居宅介護２カ所（優っくり小規模多機能介護奥沢、小規模多機能きらら奥沢）
認知症対応型共同生活介護１カ所（グループホームきらら奥沢）
特定入居者生活介護１カ所（ロイヤルライフ奥沢）
障害者就労支援１カ所（障害者就業・生活支援センターアイ・キャリア）
障害者共同生活介護１カ所（アイリスホーム世田谷/奥沢）

障害相談支援機関・相談支援事業所

特定非営利活動法人まひろ 、相談支援ルフト

医療

医療機関、訪問看護等

管内に所在する、おくさわ脳卒中リハビリテーション病院、奥沢病院のほか、隣接区の東急病院（大岡山）、昭和大学病院（旗の台）、国立病院機構 東京医療センター（目黒区）に通院している方も多い。診療所・クリニック１８カ所（奥沢１６、東玉川２）、歯科診療１５カ所（奥沢１１、東玉川４）、居宅介護支援１カ所（奥沢１）、訪問介護３カ所（奥沢２，東玉川１）、訪問看護２カ所（奥沢２）、通所介護５カ所（奥沢２、東玉川３）、地域密着型通所介護１カ所（奥沢１）、※奥沢病院は、令和７年４月より外来受付中止。

子ども・教育	児童館	奥沢子育て児童ひろば（現在の所在地は奥沢４丁目）
	その他、児童施設	
	おでかけひろば	おでかけひろばおりーぶ
	保育施設	奥沢保育園（区立）、南奥沢保育園（区立）、グリーンヒル奥沢保育園（私立）、グリーンホーム東玉川保育園（私立）、東玉川善隣保育園（私立）、マミーズエンジェル保育園（認証保育所）、奥沢エキチカ保育園（企業主導型保育所）
	幼稚園	奥沢幼稚園（私立）、銀の鈴幼稚園（私立）、調布幼稚園（私立）
	新ＢＯＰ	奥沢小新ＢＯＰ、東玉川小新ＢＯＰ
	地区内に所在する小学校または関係のある小学校	奥沢小学校、東玉川小学校
	地区内に所在する中学校または関係のある中学校	奥沢中学校、田園調布学園中等部
	地区内に所在する高校・大学等または関係のある高校・大学等	田園調布学園高等部
	子どもに関するその他の事項	
	令和６年度４月より、等々力児童館を含む区立児童館２館を対象に「子どもの居場所フローター事業」が開始となり、地域内資源の連携強化を目的に専任職員が配置された。奥沢地域は近隣に児童館がなく、以前より子どもの居場所の不足が課題となっているが、フローターの配置により、コミコミひろばやなかよし子どもスペースの運営など、社会福祉協議会やまちづくりセンターとの連携を軸に、課題の解消に取り組む環境が向上した。事業の開始より、様々な方面からの反響や働きかけがあり、地域内の児童健全育成や子育て支援に関するニーズの高さが伺える。	
その他支援	その他の支援機関など（例：就労支援など）	
	障害者就業・生活支援センター　アイ-キャリア（再掲） フリースペース　エリアワン（居場所、個別相談）	
公共施設	図書舘	奥沢図書館仮事務所
	地区会館、区民集会所など	奥沢区民センター、奥沢東地区会館、東玉川地区会館

住まい・環境・防災

主な公園・緑道・広場	奥沢公園、奥沢２丁目公園、東玉川公園、東玉川第２公園

土地利用、地理的特徴（住宅の特徴を含む）

奥沢駅周辺は一部高層ビルが建っているが、地区の大部分には一戸建住宅が立ち並ぶ。
一戸建て住宅については、敷地面積を有効に利用するため、地階もしくは半地下 部分に住居スペースや車庫が設けられているものや、一部の集合住宅についても、半地下部分を活用している建物が散見される。これらの建物については、令和７年９月１１日に発生した集中豪雨の際に、床上・床下浸水等の被害が発生したものも多く見られ、止水板設置や土嚢の活用等、居住者の自助意識の向上等を図っていく必要がある。

交通の便に関する事項（鉄道・道路）

・鉄道は、東急目黒線奥沢駅がある。最寄り駅では、東急東横線大井町線自由が丘駅、緑が丘駅、東急池上線石川台駅・雪が谷大塚駅、東急東横線・目黒線田園調布駅が利用でき、どの駅も徒歩１５分以内と利便性が高い。
・道路は、環八通り、自由通り、補助１２６号線、奥沢大蛇通りがあるが、細い街路も多い。
・以前は「渋３３系統渋谷駅～大森駅（大森操車所）」の路線バスが運行していたが、現在は系統が変更され「多摩川駅～東京医療センター」の運行となっており、本数も年々減少している。（現在は１日５往復のみ）
・奥沢・東玉川地区が公共交通不便地域に指定されたことを受け、地域協議会が設立され、新たなコミュニティ交通の検討が開始されている。

産業に関する事項（買物・商店街などを含む）

地区内に商店会が７団体あるが、各商店会とも経年で規模が縮小しており、特に一部の高齢者にとっては、近隣での買い物が難しくなっている。
月に１回開催されている、ひがたまカフェにて魚屋、パン屋、移動販売の出張販売が継続して行われている。

防災　→　各地区の地区防災計画を参照

地区課題解決の取組み

地区ビジョン
子どもからお年寄りまで　みんながいきいきと安全で安心して暮らせる　絆に結ばれた支え合いのまちをめざして

課題、取組みの方向性
１【課題】子どもの居場所や学習の場である児童館、図書館がなく、子育て、子どもの施設や外遊びができる公園やスペース等も少ない。 【取組みの方向性】児童館については、奥沢中学校の改築と並行して、敷地内に建設中である。令和９年度中に竣工、供用開始予定となっている。図書館については、令和９年度当初に奥沢駅北側に民間事業者が建設中の建物に、奥沢図書館の仮事務所の移転を予定しており、子ども向けの図書スペースを設ける予定である。
２【課題】コミュニティ活動の拠点である奥沢区民センターが耐震不足により、令和５年度より仮施設に移転して運営しているが、利用できる面積が旧施設に比べて狭いため、地域活動団体が活動の場を確保するのに苦慮している。 【取組みの方向性】１と同様に、令和９年度当初に奥沢駅北側に民間事業者が建設中の建物に、奥沢区民センターの再度の仮移転を予定しており、現在よりも使用面積が広い施設として開設する準備を進めている。
３【課題】地区の南北を通る路線バスの本数が激減し、利用が難しいことから、一部の高齢者や障害者等の移動に支障が出ている。 また、地区内には、食料品等の販売店まで距離のあるエリアがあり、買い物に苦慮している住民がいる。 【取組みの方向性】高齢者や障害者等の移動支援や新たな交通手段の検討も進めていく必要がある。当面の対応として、地区の２町会で複数のタクシー会社の連絡先一覧を作成し、広報版への掲示や地区住民への配布を行っている。今後はタクシーアプリの普及啓発等も検討していく。

参加と協働の地域づくりの取組み内容（参加と協働を基盤とした地区課題への取組み）	
①	コミュニティ活動の拠点 奥沢区民センターは令和９年度当初に現在よりも使用面積が広い施設に再度の仮移転をする予定で準備を進めている。
②	住民の移動不便解消　地区の２町会で複数のタクシー会社の連絡先一覧を作成し、広報版への掲示や地区住民への配布を行っている。
③	子育て、子どもの施設や外遊びができる場、また、集い憩える場所　奥沢中学校の敷地内に児童館の建設計画が立てられ、令和５年度は基本構想を策定。令和９年度に竣工予定
④	【ダンディエクササイズ】地域の有志が集まり、あんしんすこやかセンターの支援のもと、高齢男性を対象に体操やゲーム、食事会など様々な催しを企画・実施し、参加者のフレイル予防や、交流促進に取り組んでいる。（住民主体型通所サービスに登録）
⑤	【ひがたまカフェDEお買い物】町会や民生委員、行政機関等で組織された買物支援協議体を立ち上げて検討を進め、認知症予防などを目的に東玉川町会会館で開催している「ひがたまカフェ」で食料品等を出張販売してもらう事業を開始した。現在は魚屋、パン屋の出張販売が継続されている。
⑥	【食で応援プロジェクト】令和２年度から奥沢地区社協、町会等が取り組みをはじめ、地区住民から寄付された食料品等を、必要な地区の方々に配付している。
⑦	【なかよし子どもスペース・奥沢こどもコミコミひろば】奥沢地区社会福祉協議会、奥沢区民センター運営協議会が小学生が放課後に過ごせる場所を東玉川地区会館、奥沢区民センター内に設け、児童館の職員が現地に出張して工作や卓球などの遊びを提供している。